

# 中高科へのヒント 1~3月

(1/3 ~ 2/7 朝川、2/14 ~ 3/28 石田)

1/3

●話し合ってみよう

1. 新生という言葉があります。どんなイメージを持ちますか？
2. 私たちには誕生日があります。みんなの誕生日はいつですか？
3. 実はもう一つ誕生日を持つことができるのです。どんな誕生日でしょう。想像ができますか？

●考えてみよう

1. ここにニコデモという人が現れます。どんな人だったでしょう。→ ①ユダヤ人、②パリサイ人、③指導者（ユダヤ最高会議サンヘドリンの議員）、④人生経験の豊かな人、⑤高齢者、⑥教師、⑦イエス様に好意を持っていた人。
2. ニコデモは、夜イエス様のもとに来ました。なぜだと思いませんか。→ ①日中はイエス様の周りに大勢の人がいてゆっくり話ができないから。②ユダヤ人にイエス様の弟子になりたいのかと誤解されるのを避けて。③光を求めて。
3. 主はニコデモに「新しく生まれなければ、神の国を見ることはできない」と言われました。どんな意味でしょうか。→ 十字架の上にあげられたイエス様を信じ罪が赦され、新しい神の命に与ること。

●自分に当てはめよう

1. あなたは新しい命に与りたいと願いますか。
2. 新しい命は、自分の力で得るものですか。神から与えられるものですか。

1/10

●話し合ってみよう

1. 一言で「罪」と聞いた時に、どんなことを考えますか。→ （警察に捕まること、法に触れること、などの答えがあるかも知れない）。
2. それでは聖書は罪を何と言っているでしょう。→ ① 神を求めないこと。②善を行わないこと。③言葉で人を傷つけること。④平和を求めず、流血や破壊を行うこと、⑤神を畏れないこと。

●考えてみよう

1. 上記2. の罪を犯さなかった人はいるでしょうか。聖書は何と言っていますか。→ 「義人はいない、ひとりもない」（10節）と言っている。すべての人が罪を犯しているということ。
2. 神の前に罪を犯した者はどうなりますか。→ 神のさばきに服さなければならない。
3. 律法の行いによって、神の前に義と認めていただくことができますか。→ 義とは認められない。むしろ罪の自覚が生じるのみである。
4. 人が神の前に義とされるには何が必要ですか。→ 主イエスを信じることで、罪が赦されるという神の恵み。

●自分に当てはめよう

1. 神の前に義とされるために、あなたがすべきことは何でしょうか。→ 罪をおわびして、イエス様の十字架は私のためでしたと信じて告白すること。
2. 神の恵みを受けて、あなたはどのように主に応えていきたいですか。

1/17

●話し合ってみよう

1. 世の中には様々な闇<sup>やみ</sup>があります。どんな闇があるでしょう？ → (自由に話してください)。
2. 罪の闇を考えたことがありますか？
3. 神に暗い部分はあるのでしょうか。聖書は何と言っていますか？ → 「神は光であって、神には少しの暗いところもない」(5)。

●考えてみよう

1. 教会で罪について語る言葉の中に、原罪というものがあります。聞いたことがありますか。この言葉の意味が分かりますか。→ 正しいことを知りながら逆を行おうとする人の心の歪<sup>ゆが</sup>んだ状態を言う。
2. 人が神と交わりがあると言いながら、実はそれが偽りである場合があります。それを見抜く三つの基準があります。それは何ですか。→ ①闇の中を歩いている。②罪はないと言う。③罪を犯したことがないと言う。
3. 自分の罪がよくわかるためには、何が必要ですか。→ 神様のみ言葉の光に照らされる経験。
4. 罪を拒んで、神の御旨の中を歩むために必要なことは何ですか。→ 神に罪を告白し、赦<sup>ゆる</sup>しをいただくこと。

●自分に当てはめよう

1. あなたはご自分に罪があることを認めますか。
2. 罪を告白すれば神は赦してくださいます。神に、罪の一つ一つを告白しましょう。
3. 人に対しての罪は、おわびしましょう。

1/24

●話し合ってみよう

1. 「わたしたちが神の子と呼ばれるためには」(1)とあります。聖書では、そのように呼ばれる前の者を何と表していますか。→ 罪を犯す者。
2. ここに「わたしたちは、すでに神の子なのである」(1)とあります。すでにということは、いつのことでしょうか。→ イエス様を救い主と信じたとき。
3. 上記1. のみ言葉は、どのような確信を与えてくれますか。→ 神の子としての特権を持つということ。
4. 「彼が現れる時」(2)とありますが、教会ではこの時を何と呼んでいるのでしょうか。→ 主の再臨。

●考えてみよう

1. 「わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない」(2)とあります。この場合の明らかではないことは何ですか。→ 神の子とされた者の後のさらなる神の恵み。
2. 「彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなる」(2)とあります。「似る」とはどういうことでしょうか。→ 「ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう」(ピリピ3・21)とあるように、心と体においてキリストに似た者として下さること。

●自分に当てはめよう

1. あなたは、すでに神の子とされているという確信がありますか。

1/31

●話し合ってみよう

1. 「肉に従って生きる責任を肉に対して負っているのではない」(12)とはどういうことでしょうか。→ 神の御心に背こうとする肉的な性質に従う義務はないということ。
2. 肉に従う生活は何をもたらしますか。→ 永遠の死をもたらす。
3. 「霊によってからだの働きを殺す」(13)を他の表現で表すとどうなるか。→ 神の御霊に導かれて歩むこと。

●考えてみよう

1. 私たちが神の子とされたことは、どこに現れていますか。→ 神に対してイエス様と同じように「アバ、父よ」と呼びかけることができる者とされていること。
2. イエス様を信じた者に「あなたは神の子である」とあかししてくれる方は誰<sup>だれ</sup>ですか。→ 御霊
3. 「相続人」とあります。この場合の相続人とは誰のことで、何を相続するのでしょうか。→ クリスチャンのこと。神の国を相続する。
4. 「もし子であれば」(17)とありますが、この場合の子の立場は何ですか。→ 実子ではなかったものが、養子とされること。

●自分に当てはめよう

1. あなたは肉と御霊のどちらに従って歩んでいますか。
2. あなたは神の子とされ、神の国の相続人とされていますか。

**2/7****●話し合ってみよう**

1. ここに義とされるとは、何によってと記されていますか。→ 信仰によって。
2. 「神との平和」とは、どんな平和でしょうか。→ 神の怒りから免れ、神との和解にあること。
3. 「この恵み」(2) とはどんな恵みでしょうか。→ 神との愛の交わりの中におかれていること。

**●考えてみよう**

1. 「患難をも喜んで」(3) とありますが、なぜ患難を喜べるのでしょうか。→ 患難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生み出して、その希望により神の約束してくださるものを見ることができるようになるから。
2. 私たちの心に神の愛が注がれている事実は何によって確かめられるのでしょうか。→ 私たちがイエス様を信じた時に与えられた聖霊によって。
3. 「まだ罪人であったとき」(8) とは、具体的にどういうときだったでしょうか。→ 罪のために無力とされ、神に対して何一つ善をなし得なかったときのこと。
4. 神の愛はどこに示されたでしょうか。→ 私たちが罪人であったときにキリストが十字架にかかってくださったことに示された。

**●自分に当てはめよう**

1. 私たちが神の愛を確信できる基は、聖霊がイエス様の十字架を指し示してくれる時です。あなたはそれを信じますか。

**2/14****●話し合ってみよう**

1. 律法の行いによって義とされるとは、どういうことでしょうか。→ 落ち度のないことや良い行いをすることによって、神様に愛してもらおうとする生き方。しかしこれは間違い。
2. なぜ律法の行いによっては、神様から義とされないのでしょうか。→ 律法の要求する規準は非常に高く、罪人の達することは不可能だから。またどこまでやれば義とされるのか、自分では判断できないから。
3. キリストを信じる信仰によって義とされるとはどういうことでしょうか。→ どんなに罪があっても、イエス様を受け入れるだけで救われるということ。これが正解。

**●考えてみよう**

1. 「キリストと共に十字架につけられた」とは、どういう信仰体験を言うのでしょうか。→ 古い自分がイエス様と共に十字架につけられて死んで、律法の基準に達することのできない罪の性質が十字架で葬り去られたこと。
2. 「キリストが、わたしの内に生きておられる」とは、どういう意味でしょうか。→ イエス様が聖霊によって、私たちの思い、言葉、行いをコントロールしてくださること。

**●自分に当てはめよう**

1. 自分は、律法によって義とされようとしているだろうか。それとも信仰によってだろうか。
2. 自分は、キリストと共に死んで、キリストが内に生きておられる体験をしただろうか。
3. 自分は、イエス様にコントロールしていただいているだろうか。

**2/21****●話し合ってみよう**

1. 「内なる人」とは、何だと思いますか。→ 精神だけではなく霊を指しており、霊には神様と交わる機能がある。
2. 内なる人が強くされるとは、どういうことでしょうか。→ たとえば、あるがままで神様から愛されていることがわかるとか、出来事に左右されない平安や喜びがある、イエス様を伝えたいという情熱がわき上がる、など。
3. 内なる人はどうしたら強められるでしょうか。

**●考えてみよう**

1. 愛の広さ、長さ、高さ、深さとは、どういうことを指しているのでしょうか。→ イエス様の愛の大きさ。「人知をはるかに越えたキリストの愛」(19) のこと。
2. どうしたらキリストが心の内に住んでくださるのでしょうか。→ 信仰によって。イエス様は明け渡された心に住んでくださると信じること。
3. キリストが心のうちに住むとは、どういうことだと思いますか。→ イエス様が一緒に生きてくださること、など。

**●自分に当てはめよう**

1. わたしの内なる人を強くしてくださいと祈ってみよう。
2. わたしが愛を基として生活できますようにと祈ってみよう。
3. 自分の祈りをはるかに越えてかなえてくださると信じて祈ってみよう。

2/28

●話し合ってみよう

1. 「からだのあがなわれる」とは、どういうことでしょうか。→ 世の終りに、二度と死なない栄光のからだに造りかえられること。
2. からだのあがなわれるのは、どういう人でしょうか。→ 主の十字架を信じて、魂のあがなわれた人。
3. なぜからだのあがなわれるのを待ち望むのでしょうか。→ 現在の苦しみを乗り越えるため (18)。この望みを生きる力にするため (24)。
4. からだのあがなわれることは、いつ計画されたのでしょうか。→ 世の造られる前から。

●考えてみよう

1. 見えないことを待ち望もうとしたら、何が必要でしょうか。→ 必ず与えられると信じて忍耐すること (24)。
2. 信じる人に与えられている望みは、一般の人の望みとどこが違うのでしょうか。→ 一時的ではなく、永遠に続くという点。
3. 信じる人のために神様が立てておられる計画は、どんなものなのでしょうか。→ 万事を益としてくださる。最終的には栄光のからだに変えてくださる。

●自分に当てはめよう

1. 自分は、からだのあがなわれることを切実に待ち望んでいるだろうか。
2. 栄光の望みは、苦しみを乗り越える力になっているだろうか。

3/7

●話し合ってみよう

1. 弟子たちはなぜ「心を騒がせ」ていたのでしょうか。→ イエス様がいなくなられるから。
2. 父の家の住まいとは、何を意味しているのでしょうか。→ 天国でイエス様が用意してくださる弟子たちの居場所。
3. イエス様がまた来て迎えるとは、どういうことでしょうか。→ 世の終りにイエス様が再臨して、信じる人を天に引き上げてくださる約束。

●考えてみよう

1. どうしてイエス様は、神とご自分とを信じるように言われたのでしょうか。→ 神とご自分とは一体だから。
2. それなのに弟子たちはなぜその道がわからなかったのでしょうか。→ 不信仰によって、心の目がふさがれていたから。
3. イエス様が「道・真理・命」であるとは、何を意味していますか。→ 神と等しい方、神の子、神が人となられて現れた方であること。
4. なぜイエス様は、弟子たちが「すでに父を見た」と言われたのでしょうか。→ イエス様を見ることによって、父なる神をよく知ることができるから。

●自分に当てはめよう

1. イエス様の言葉と行いをとおして、神様の素晴らしさを体験しているだろうか。
2. 神様と交わる道、天国へ行くための道を知っているだろうか。

3/14

●話し合ってみよう

1. 主の再臨はいつあるのでしょうか。→ その日はわからない。盗人のように、予想もしていないとき、突然に来る (10)。
2. 世の終りはどのような順序をたどるのでしょうか。→ 天体は崩れ、地上のものは焼き尽くされ、そのあと新しい天と地が創造される。
3. 主の再臨があるまでに、まだ信じていない人に対して、神様は何を望んでおられるのでしょうか。→ ひとも滅びないで、すべての人が悔い改めに至ること (9)。
4. 神様は信じている人に何を望んでおられるのでしょうか。→ きよく信心深い行いをして、再臨を熱心に待ち望むこと (12)。

●考えてみよう

1. 主の再臨が、現実にあることとして考えたことがあるでしょうか。
2. 義の住む新しい天と地とは、どのような世界だと思いますか。→ 神様とイエス様とが永遠に治める、愛と平和と正義に満ちた世界。
3. 主の再臨は、主が約束されたことでしょうか。

●自分に当てはめよう

1. 主の再臨がいつあるかわからないことを自覚し、目を覚ましているだろうか。
2. 新しい天と地に住むことを心から待ち望んでいるだろうか。
3. 主の再臨までに、最も救われていて欲しい人はだれだろうか。

3/21

●話し合ってみよう

1. イエス様はご自分のことを何と言っておられますか。→ アルパ、オメガ。最初の者、最後の者。初め、終り（13）。ダビデの若枝また子孫、輝く明けの明星（16）。
2. イエス様はいつ、この地上に来られるのでしょうか。→ いつとはわからないが、「すぐに」突然にやって来られる。

3. イエス様がすぐに来ると言われたことに対して、どのように返事をすればよいでしょうか。→ きたりませ。どうぞ来てください。

●考えてみよう

1. イエス様が最初であり終りであるとは、何を意味しているのでしょうか。→ 時間を超越して、永遠に支配しておられる神であること。
2. イエス様が「輝く明けの明星」であるとは、何を意味しているのでしょうか。→ 世の終りに続いて、新しい世界を開く方であること。
3. 「命の木にあずかる特権」とは、何でしょうか。→ 永遠の命をいただくこと。
4. 「御霊も教会も」とは、どういう意味でしょうか。→ 全世界の教会の人々が心を合わせて、という意味。

●自分に当てはめよう

1. イエス様に今来てもらっては困るだろうか。
2. 心から「アメン、主イエスよ、きたりませ」と言えるだろうか。
3. イエス様が再び来られるとき、自分はどんな報いをいただくことができるだろうか。

3/28

●話し合ってみよう

1. のどが渴いた時のことを思い出してみよう。
2. イエス様が、のどの渴きを訴えられた時の苦しみは、どれほどだったでしょうか。
3. 「万事が終った」とは、何を意味しているのでしょうか。→ 神様から与えられた救い主の使命を果たし終えたこと。

4. 「すべてが終った」とは、どういうことでしょうか。→ 人類の罪の贖い<sup>あがな</sup>が完成したこと。これは敗北宣言ではなく、勝利宣言である。

5. この時のイエス様のお気持ちはどうだったでしょうか。

●考えてみよう

1. なぜ罪のないイエス様が、ここまで苦しまなければならなかったのでしょうか。→ それほど私たちの罪が深刻だったから。その贖いのためにはイエス様が死なれる必要があった。
2. 自分の罪を贖うためにはどうしたらいいでしょうか。→ 決して行いによってはできない。イエス様が完成してくださった贖いを信じて受け取るだけ。

●自分に当てはめよう

1. 間違いや失敗があっても救われたいと思っていはいないか。→ そのままで信じればよい。
2. 自分のためにイエス様はこれほど苦しんでくださったと受け取ることができているか。
3. 自分の罪の贖いが、イエス様の十字架において完成されていることを信じているか。